

ピッコロ演劇学校本科三八期中間発表、豊島高校演劇部2020年度卒業公演客演

『列車』

台本 春次未希

田舎を走る一両電車毎朝乗るのは同じメンツ

ある日大雪で電車が止まる

今まで同じ電車に長い間乗ってたのに喋ったことがなかった乗客が喋る話

この問題は解決はしないかもしれないけれど明日に向かって歩いて行こう的な

今のところ

サバ子 サバイバル好きの中学生 勉強

タンラン 昭和に憧れてる平成生まれの令和のヤンキー ヨーヨーの練習 ガラケー

おっさん 寂れたサラリーマンかOL 寝てる

占い師 1割の確率で当たるうざい占い師 膝の上の水晶玉

車掌 ときおり入ってくる無口な運転手

鉄オタ 今日新人の新しい鉄オタの車掌さん

ヘッドホン 普通の人 ただの普通の人 本読んで **↑本当に喋らないんで、助っ人が最悪ナシで**

吉田 隣のクラスのよしださん(吉岡)

照明がじんわりつく

サバ子が大きなりユックを持って入ってきて席に座る
汽笛が鳴る

タンランが駆け込んでくる

タンラン「セーフ、うわ最悪だ、マイヘアー

タンラン頭に積もってる雪を払う

車掌「ご乗車ありがとうございます。この列車は土下座駅行きでございます。それでは発車いたします。」
扉が閉まるSE、列車が動き出す

タンラン、サバ子と一人分空けた席に座る

オープニング

キキーつとまる

放送「少し停止いたします。

動き出す

今度は勢いよく止まるキキー！というかガン！！って

サバ子「うわっ！！

タンラン「あ、ごめん

サバ子「こちらこそ

放送「しばらくおまちください的な放送

タンラン「止みそうにないね、雪

サバ子「はい

タンラン「え、まじかよ！うわー明け方まで降んのかよ！！バイク置いて帰らなきゃ、帰れるかな…どう思う！？

サバ子「いや、ちよつとわからないですね

タンラン「そうだなあ、わかんねえか悪かったな

サバ子「…はい

タンラン「てかよお、チヨ見ろよこれ、昨日床屋でやってもらったんだぜ？クソイカすだろ？？」

サバ子「…

タンラン「ほんととはよお金髪にしたかったんだけどヨオ、校則がなあ、下手に先公とバトルのもダセエだろ？どう思う？

サバ子「…ちらっとみて無視」

タンラン「…

放送「ご迷惑をお掛けして大変申し訳ございません。もうしばらくお待ちください。

タンラン「お、俺ちよつと聞いてくるぜ

袖に車掌室、希望は下手

袖に入って

タンラン「あ、すみませーん。…え！…！！うそっ！！まじかよー！！…えええ…

電車に残ってる人が声に反応して下手を見る

戻ってきて目線を外すチラチラ見る

タンラン「…雪で通行止めだつてよ、このまま動かなかつたら駅まで戻るらしいぜ

タンラン座席に座る

タンラン「動かないって

タンラン「それ鯖中の制服だよな？鯉のぼり先生元気？まだ生きてる？？」

サバ子「…

タンラン「よく扱かれたなあ、ほら俺ってヤンキーだからさ？

サバ子「…

タンラン「…カバの汗ってピンク色らしいぜ

サバ子「…気持ち悪

タンラン「だよなだよなそう思うよなだよな！！

おっさん「お前らさっきからうるさいんだよ！！静かにしてろ！

サバ子「…」

タンラン「そんな言い方ないだろ！！動かないからって俺らに当たるなよ！！」

サバ子「…俺…ら？」

おっさん「まったく最近の若者は…どう言う育て方されたんだ…親の顔が見てみたい…」

タンラン「あ？？オカンは関係ねえだろが！！」

サバ子「ちよ、やめてください、すみません、静かにしてますから

タンラン「なんで止めんだよ！！ああ言う奴には強く言わなきゃつけあがられるぞ

サバ子「いいんです、どうせ言ったって変わりませんって…あ、すみません、ありがとうございました

タンラン「お、おう、真のヤンキーは弱いものには優しいんだ！！」

サバ子（無視

タンラン「おい…真のヤンキーは弱いものには優しい…」

サバ子「というか、寒いですよねえ

タンラン「お？しかたがねえなあ俺の短らんかしてやるよ

サバ子「いや、大丈夫で…」

ヤンキー脱ごうとしたら中が激ダサッシャツ

タンラン「…」

サバ子「…それもヤンキーっぽさってことですか？

タンラン「ポサじゃなくて俺はヤンキーなの！（くしゃみ）

サバ子「すうごい薄着ですもんね、

タンラン「短らんにダウンは合わねえからな

タンランくしゃみをする

サバ子「それで風邪ひいてたら仕方ないじゃないですか

サバ子、タンランにブランケットを貸す

タンラン「なにこれアルミホイルみたい

サバ子「遭難した時とかに使える登山用のサバイバルグッズです。

タンラン「へえ…いやいい！！真のヤンキーは施しは受けない

サバ子「風邪うつされたら迷惑なんで

タンラン「…うつす

車掌入ってくる

車掌「乗客の皆さん、説明が遅くなってしまい申し訳ございません。ただいま線路に雪が積もってしまい進むに進めない状況となっております。

車掌「私どもも、本部や消防にも応援を要請しているのですが、なにぶんこの雪でして早くとも夕方ごろになりそうとのこと…

おっさん「じゃあ今日中に帰れるのかわからないのか

車掌「今の時点ではなんとも…ただ夕方ごろには過疎駅には戻れる可能性が高いので、そこで降りてはいただけると思うのですが…

「無人駅の！？無理に決まってるだろうが！！

「も、申し訳ございません！！

「はあ…じゃあ結局

車掌「ご迷惑をおかけして大変申し訳ございません。毛布などの用意はございますのでよければお使いください。

占い師「いやそれはありがたいんですけど…

車掌「私どもは外で作業しておりますので何かあれば呼んでいただければ。ご不便をおかけします。

タンラン「いや、こちらこそありがとうございます。男手が必要であれば呼んでください。

車掌「ありがとうございます。失礼いたします。

車掌去る

タンラン「うわー、すげーなんかミステリーみたい。コナンでありそうな展開！！

サバ子「てか短らんさんはさあそんな格好してる割にまともなこと言うよねちゃんと敬語使ってるし？

サバ子「いやサバ子だって、真面目なふりしてだいぶ変わってるだろ、どこに登山用のブランケット常備してる中学生がおるか

サバ子「いや、備えあればというし

おっさん「サバ子？短らんさん？

タンラン「サバイバル好きのサバ子ちゃん

サバ子「短ラン野郎

おっさん「いやサバ子もタンランも違うだろう

タンラン「だって名前知らないし

おっさん「いやそう言っても…

サバ子「いいじゃんわかりやすいし

おっさん「普通に名前聞けばいいじゃないか、まったく最近の若者は

タンラン「じゃあおじさんが聞けよ

おっさん「お、おじさん

タンラン「ほら早く

おっさん「あ、え、お名前おしえてもらえる？

サバ子「…警察呼びますよ

おっさん「なんでだ!!

タンラン「車掌さん!!!!

おっさん「呼ぶな呼ぶな呼ぶな!!

サバ子「だって気持ち悪いんだもん

おっさん「お前らと話してたら疲れる

タンラン「ジジイだから

おっさん「歳には勝てん、誰がや!

サバ子タンラン笑う(うえーい)

おっさん「…寝る

タンラン「あーあおじさん不貞腐れて寝ちゃった

サバ子「急に静かになりましたね

間

客席後ろからすごく着込んでる人が走ってくる。

鉄オタ「皆さん大丈夫ですか!? 凍えてないですか!? 何か足りなければすぐ呼んでくださいね!! (大声) 私いっぱい着込んでるんで、貸しますよ!! お姉さん寒くないですか!?

占い師「え? あたし??

サバ子「なに…誰…」

鉄オタ「え??」

タンラン「いや、だからどちら様ですか?

鉄オタ「ちよつとすみませんもう少し大きな声でお願いしてもいいですかね!!!?」

タンラン「は??耳当て外したらどうですか?

鉄オタ「皆さん言葉は伝えようとしないと伝わらないですよ!!道德の時間に習ったでしょう!?!もつと伝えようとする意思を持って!!そんなんじゃアメリカでやっていけませんよ!?!もつと大きな声で!?!なんですか?

タンラン「いやだから!?!耳当てとっただけですか!?!?」

鉄オタ「だれがくるくるパーですか!?!これは天パです!?!やめてください!?!なんなんですか?!ナンパですか?好きな子いじめちゃう的なあれですか?私が可愛いからってやめてくださいよ!?!迷惑です!

サバ子タンラン「はあ…」

鉄オタ「ちよつと聞いてるんですか!?!(ヤンキー、サバ子に抑えられる)

鉄オタ「何するんですか!?!?やめてください!?!うちのお母さん卵片手で割れるんですからね!!!

ドタバタ

タンラン「しらねえよ!?!(耳当てをとる)

サバ子「耳当て取らないから聞こえないんですよ!?!」

鉄オタ「あ!!ほんとだ!?!ごめんなさい!?!ありがとうございます!?!」

タンラン「なんで声でかいんだよ

鉄オタ「あ、ごめんなさい(普通の音量で)

サバ子「お姉さん新しい人?

鉄オタ「あ、そうなんです!?!今日からで!?!」

タンラン「え、今日から

鉄オタ「そうなんです!?!記念すべき初出勤の日に電車が止まるなんて幸せなんだって思います!?!だって春次号ですよ!?!もう万人の憧れですよ!?!1両列車ってめつつちゃテンション上がりますよね!?!わあーもう感動!?!見てくださいこの椅子!?!なんて光沢!?!皆さんも幸せものですね!?!」

車掌「鉄尾さん??ちよつときてくれる!?!?」

鉄オタ「あ、はい！！すみません、今行きます！！じゃあ皆さんごゆっくり！！
鉄オタ去る

間

サバ子「あーゆー人鉄オタって言うんですよ

占い師「私あんな身近で鉄オタ見たの初めてです

タンラン「そんなパンダを見るみたいになうなよ

占い師「普通ごゆっくりって言わないよねとまってるあ電車にいる人に向かって

サバ子「鉄オタにしてみれば至高なんじゃないですか

占い師「あいろいろな人間がいるもんですね

サバ子「あの人鉄尾さんっていうんですね

タンラン「名前まで鉄オタかよ……くっ！！羨ましい！！

サバ子「占い師」……

タンラン「あーなんか腹減った！！お前そんだけ荷物あるならサバ子なんか食べ物はいってない？

サバ子「何がいいですかパンとスープと果物とかも！

タンラン「いや、なんでもいいよ、いっぱいあるなあ

サバ子「今時こんなの常識ですよ

タンラン「普通こんなに持つてる人いねえと思うぞ

サバ子「人生何が起こるかわかりませんからね、備えあれば憂いなしってやつですよ

タンラン「お前備えるのすきだな

サバ子「まあアリとキリギリスって話もあるくらいですからね

タンラン「待って。じゃあその中身も全部……！？」

サバ子「そうです！！あ！みなさんもよければどうぞ！！いっぱいあるんで！！

占い師「ありがとう、いただくね

サバ子「いやーほんとだね！！今日帰りに友達と遊ぶはずだったんですよ！！だから色々詰め込んだんですけどねえ！！

タンラン「友達と遊ぶくらいだったらこんな荷物持たなくてもいいと思うけど……

占い師「あなた家出すんのでっくら荷物多いわね

サバ子「いや、あの私趣味サバイバルなんで

占い師「そーなんだ、

タンラン「趣味サバイバルなんで

サバ子「趣味サバイバルなんで!!

じんわり照明がおちるオーラスっぽい曲が流れる

サバ子「ちょちょちょちょちょちょ!!!!終わらない終わらないって!!

タンラン「サバ子がしようもないこと言うから照明落とさにかけてるじゃんか!!

サバ子「私のせい!? 違うわよ! だいたいなんで短らんさんのときはおちないのよ! おかしいでしょ!

タンラン「ほら、俺は令和一のヤンキーだからな!!

サバ子「意味わかんない

鉄オタ「スミマセー、電気系統の不具合です!! 今つけまーす!!

明転

タンラン「なあんだ絶対サバ子のせいだと思ったのにいい!!!!

占い師「へえカンカンにもいろいろあるんだね!!

サバ子「そうなんですよね!! わかってくれます??

タンラン「おい!!

サバ子「まあ缶切らないと開けられないってところが不便ですよ

占い師「あー最近の子缶切りで開けられないって言うね

サバ子「使う機会ないですもん、缶切り

占い師「確かに、ああこれ開けたいから貸してもらえる

サバ子「あはいいいませんちよっと待ってくださいね

ガサゴソ 色々だす カバン振る 立ち尽くす

タンラン「ねえじゃん

サバ子「ないみたいです。

占い師「何これ？豚の貯金箱？なつかし！！私も持ってた！！

サバ子「あ、返してください！！

占い師「え、あ、ごめんね

サバ子「いや、あすみま：

タンラン「だめじゃんせっかく食料持ってるのに缶切りないと開けられないじゃん！食べられないじゃん

サバ子「まあまあそういう時もありますって

タンラン「いらないよーそんな時！！ああ、食いもん見たからああお腹が減ったー！！！！

おっさん「ああもううるさい！！静かにでいいのか！！

タンラン「お！やるか！！おじさん！！

おっさん「やらん！！黙れ短らん！

タンラン「！おじさんが、俺のこと、、短らんって：！！！！♡

おっさん「：スプーンもってるのか？

タンラン「おい！！

サバ子「あ、スプーンならあります

おっさん「貸してみろ

おじさんスプーンでカンカン開ける

タンラン「おおおおー！！

サバ子「すごー！！覚えとこ！！

おっさん「これくらい常識：

サバ子「ごめんねおじさん、ばかにして

おっさん「いや、まあ俺も暴言吐いて悪かつ：

車掌入ってくる

車掌「呼びました？ え、今更？って反応もあり

サバ子「あ！車掌さん！！

車掌「どうしましたか？

タンラン「おじさんがサバ子にセクハラして

車掌「え、消防には連絡したんですけど警察にもしときます？

おっさん「しなくていい、しなくていい

タンラン「もう解決しました！

サバ子「しました！

車掌「そうなんです外で作業してるのでまた何かあれば呼んでください
車掌去る

サバ子タンラン「はい！！

おっさん「ただでさえ短い寿命を縮めるなよ：

サバ子「え、おじさんいくつなの？

おっさん「ひとに年齢を聞くのは失礼だと習わなかったんか？

タンラン「なんか話しかけて欲しい感じ出してたくせに

サバ子「あ、私らの年ききたい？

サバ子「15

タンラン「17

おっさん「知ってるよ！！

サバ子タンランうえええい

おっさん「はあ…50だ

タンラン「もうすぐ定年じゃん！

おっさん「グサッ

サバ子「やめなよ、おじさん傷ついてるじゃん

おっさん「：おじさんたちは50が定年になったんだ

タンラン「えーかわいそあと9年も働かされるの？

サバ子「搾取だ搾取

おっさん「仕事楽しい人間もいるんだよ

タンラン「え、無理ー

おっさん「仕事しないと生きていけないからな

サバ子「…

タンラン「へー変人

おっさん「そんなこと言い出したらここにいお前ら以外全員変人↑k

タンラン「え、うける

サバ子「え、わかんないじゃんニートもいるかもよ

グサッてなる占い師

占い師「…

サバ子「いたね、

おっさん「いたな

タンラン「ニートさんはさあ

占い師「ニートじゃないわ！占い師よ！

タンラン「え、そうなの？

サバ子「たしかに言われてみればそれっぽい服装…

占い師「親から毎月仕送り貰ってるけど、立派な占い師よ！！

サバ子「それニートっ言うんだよ…

タンラン「どうせ当たらないでしょ

占い師「いや、そんなことなくもなくもなくもなくもないわ！

タンラン「どっちよ！

占い師「んーまあ、ゴリゴリくんの当たりが出る確率ぐらいね

サバ子「へー！！…それってすごいのか？

占い師「えー？

調べる

タンラン「1/10じゃん…！

サバ子「1割じゃん

タンラン「詐欺師め!!!」

サバ子「誤魔化しやがって!!」

タンラン「ごまかせてなかったけどな!!」

サバ子「ニートで詐欺師ってとんでもねえな!!」

占い師「うるさい!!呪ってやる!!」

不穏な空気が流れ出す

サバ子「あー!私水晶玉なんか初めて見ましたあ!!」

タンラン「どしたの急に

サバ子「いいから!

占い師「ま、まあこういうのはちゃんとした占い師しか所持することができないから

サバ子「へー!一回持たせてくださいよ!!(ほら!

タンラン「え!ほんとだー!!僕持ってみたい!!」

占い師「え、た、た、た、た、崇り的なやつをやつですよ

サバ子「すごい本格的!

タンラン「そーですよ占い師さん、すごい...いい感じな感じがあつてめっちゃいい感じですよ!!」

サバ子「下手くそ!!」

タンラン「だって!

占い師「な、なんですか?私のことおちよくってるんですか?

サバ子「そ、そんなことないですよお

タンラン「さ、さすがー、し、しらかなたー、す、すごいですねー、せ、せ、背脂マシマシ

サバ子「は?

タンラン「そ、ソニックビーム

占い師「お、おちよくてますよね!!」

サバ子「あ、いやあのその...

タンラン「ふん！1割しか当たらない占い師なんか怖くないわ！！
もっと不穏な空気が流れ出す

サバ子「ね、ねえ謝ったほうがいいよ！！

タンラン「なにビビってんだよ！！なにも起こらないって！！
何かが飛んでくる

サバ子タンラン「え？

占い師覚醒

占い師「ハーーーー！！

雷の車掌

ものすごい量のトイレットペーパーが吹き荒れる

サバ子「短らんさん！！謝って！！謝罪して！！

タンラン「なんで俺が謝んなきゃいけないんだよ！！

サバ子「いいから！

タンラン「ごめん！！謝る！！

サバ子「もっと議員のように！！

タンラン「議員？！議員のようになってなに？！

サバ子「いいから早く！！

タンラン「記憶にございません

サバ子「それじゃないよおお！！

占い師「うがあああ！！

暗転

停電

サバ子タンラン「うわ！！！！！！

間

サバ子「…え？

鉄オタ「すみませーん！！

タンラン「鉄オタかよ！！

鉄オタ「ごめんなさーい！！ちょっと待ってください

タンラン「お前何回目だよ

鉄オタ「暗闇の中の春次号を楽しんでくださいね

タンラン「意味わからんねえよ！

車掌「みなさん手持ち無沙汰だと思うので、この電車にまつわるクイズっ！出しちゃいたいと思います！！

サバ子「え、常識人だと思ってたのに：

車掌「第一問！

鉄オタ「ダーダン！

車掌「（募集中）

客いじりしたいなあ？？

サバ子「あ、ついた

サバゲーまた暗視ゴーグルをつけてる

タンラン「何つけてんの？

サバ子「暗視ゴーグル、便利でしょ

タンラン「使い所今しかないじゃん

サバ子「そんなことないよ、いつでもどこでも暗転しても大丈夫！！暗視ゴーグル（ドラえもん風）

タンラン「ぼくどらえもん

占い師倒れてる

サバ子「え！ちょ、占い師さん！？（前のセリフに被り気味に）

占い師「う、うーん

サバ子「ちょ、大丈夫ですか

占い師「私はなにを…」

タンラン「うわー記憶ないタイプか

占い師「はっ！！呪ってやるううう

雷の車掌

サバ子「もういいって！！」

頭叩かれる

占い師「ううどうせ私なんて

サバ子「はあ…占い師さんこの雪止むんですか？

占い師「知らないですよ、何で私に聞くんですか？止むんじゃないんですか？

サバ子「…やみましたね

タンラン「よかったですか、1割ここで使っちゃって

占い師「言わないでくださいよ！！！！あーなんでここで使っちゃったんだろう、何で私に聞いたんですか！

サバ子タンラン「えー…」

占い師「いいじゃないですか！！別に！！1割でも！！

タンラン「いやそんなに…

占い師「下手 1割じゃだめなんですか？

タンラン「上手 れんくんさんじゃん

サバ子「上手 れんほうさんな

ヘッドホン「後ろ N位じゃダメなんですか

おっさん「ちよっと古いよな

サバ子「取っちゃいましたしね、L位

おっさん「へえよくしってるな

サバ子「まあニュースでやってますし、みんな知ってますよ

タンラン「あ、電話持ってませんか？親に連絡したくて

サバ子「電話もってないの？

タンラン「あ、僕ポケベルなんです

サバ子「ポケベルって使えなくなっただんじやないの？

タンラン「はい、でも雰囲気だいじなんで！

おっさん「そういうものなんだ

タンラン「そういうものです。スマホもありますけど

サバ子「あ、ほんとださっき使ってたじゃん

おっさん「あるんだったら使えよ

タンラン「充電されちゃったの！サバ子は？

サバ子「ごめん私電話持ってない

タンラン「え！珍し！！

サバ子「違う違う家に忘れたの

タンラン「ああ占い師さんあります？

占い師「…あるけど。

タンラン「貸してください！！

占い師「はい

スマホの先に水晶玉が付いている

タンラン「あーダメだ圏外

サバ子「すごいストラップ…

おっさん「ああ、俺エーユーなんで微妙に…あ、だめだあ、でもソフトバンクはピンピン！！

タンラン「えー！！いいなあ！

サバ子「え！△△持ちっ！っ！かっこよ！？

おっさん「会社用♡プライベート用♡

サバ子「きも

おっさん「…

占い師「ありますよねそういうこと

サバ子「ありますねえこう言うこと

タンラン「あ、お借りしまーす

おっさん「はーとのポーズ(ハートのポーズ付き)

タンラン「もしもし？ママ、俺。

サバ子「ママ呼びなんだ…

おっさん「タンランなのに…

タンラン「うん、俺…もうオレオレ詐欺じゃないよ!!

占い師「しかも仲がいい…

タンラン「うん、そうそう電車止まっちゃって、えニユースになってんの！？え録画しといて、まあうん大丈夫だからまた動いたら電話する。うん。じゃあね」
おっさん「お前…ヤンキーのくせに…母親思いとか…

タンラン「まあそれはそれこれはこれです。育ててもらって、屋根を提供してくれてるんで

サバ子「えっら…

占い師「それに比べて私って…

タンラン「また始まった…

占い師「私今日死のうと思ってでてきたんです。生活費は親にもらってるし占いは当たらないし彼氏もいないし友達もいないしもう生きてても仕方ないかなあって
まあそこまで思い悩んでるわけでもないんですけどもういかな死んじゃうかなって思って

サバ子「軽いんですね

占い師「そんなもんですよ死ぬ理由なんて

サバ子「へえ、

占い師「それに死ぬにはもってこいの日らしいです今日

タンラン「そんな日あるんですか

占い師「占いではそう出てるんです。死ぬことに関しては絶対うまく行く日、らしいです

タンラン「え、でも着いてないじゃん電車、戻ってるじゃん電車

占い師「そーなんですよねえ(泣き出す

占い師「このまま電車の中の酸素が抜けて窒息しとかないですかね無理ですかね

サバ子「いやいやいやいや困ります巻き込まないでもらえます？勘弁してくださいよ恐ろしいなあ

占い師「いいじゃないですか一緒に死にましょうよほら心中って言うんですか！ビートの方の武も言ってるじゃないですか！赤信号みんな渡れば怖くない、みんな死んだら怖くない！！」

タンラン「いやですよ何が悲しくて落ち目の占い師何かと一緒に死なないといけないんですか

占い師「なんでそんなこと言うんですか！！やだー！！もう死ぬうう！！」

おっさん「そんなこと言うもんじゃない

占い師「定年間近のおじさんに何がわかるって言うんですか

おっさん「せっかく親に産んでもらって今まで生きてきたんだ、命を大切にしろ

占い師「やだやだ！！正論やダア！もうしぬのおおお

サバ子「子供かよ

急に立ち上がる

おっさん「俺だって何回電車に飛び込もうとしたかわからないけど！！」

タンラン「だめじゃんねそれ説得になってない

サバ子「今いいとこだから

おっさん「親が悲しむとか思わないのか親より先に死ぬな

タンラン「そうだよ！！そんなこと思うもんじゃないよ！！」

サバ子「そうそうあたしなんか16歳の誕生日だったのにお父さんの不倫がバレてお母さんは出て行っちゃうし、お父さんが不倫相手連れ込んで誰このお婆さん、お母さんどこ行っちゃったの？みたいなああ！！でも大丈夫私幸せだから！だから占い師さんにもきつといいことあるって

間

占い師「ごめん

タンランおっさん「あんたが謝ることじゃない

おっさん「苦労してるんだね

サバ子「いやいやほんとに気にしないでください！！皆さんにとっては耳馴染みのない話かもしれないですけど、私にとっては日常なんで…

間

占い師「はい、はい、はい！！そんな時こそゲームよ！！ババ抜き？じじ抜き？七並べ？？

サバ子「なんであんなトランプなんか持ってるのよ

占い師「UNOもありますよ

おっさん「そういう話じゃないのよ

占い師「あああ！水晶玉もあるし、ボーリングでもします？

」

占い師「あ、タロットでメンコとか！！

おっさん「商売道具だろ？それ

占い師「いいんですよ、当たらないんで、もう死ぬんで！

サバ子「もう諦めなよ、あんな死ねないって！

占い師「いやです私は死ぬんです絶対今日死んでやるんです！

タンラン「そもそも死ぬ人間がボーリングとか面子とかしようとするなよ

「…

タンラン「かまちょかよ

サバ子「ダメだって

タンラン「ていうかサバ子割とハードな人生送ってるんだな

サバ子「え、そこ戻ります？まあよくある話ですよ、でも大丈夫ですよ。ご飯代はくれるし、逆に言えば好きに色々できるってわけですからね

おっさん「口挟んで悪いと思うけど、先生とか周りの大人にも相談しろよ

サバ子「そんなに重く捉えないでくださいよ！！ほんとに！私平気ですから

おっさん「ならいいが…

タンラン「俺に相談しろよ、なにかあったらな、なんせ俺は令和一のヤンキーになる男だからな！

リーゼント落ちる

『あ』

停電

サバ子「うわ！また？

放送「ご迷惑をおかけしております。ただいま復旧いたします

間

電気がつく

サバゲー暗視ゴーグルかけてる暗転明け

サバ子「びっくりしたあ、あ

リーゼントついてるタンラン

タンラン「お前、観たのか　って言う顔アナウンスつけるかも」

サバ子「短らんさんちゃんと確認できなかったけど禿げてたんだ…触れてあげない方がいいよねって言う顔」

タンラン「なんなんだあの顔は…まるでドラえもんの生暖かい目じゃないか、バレてるのか、どっちだ…」

サバ子「短らんさんすごいみてくる…あつ、暗視ゴーグルが気になるのかな…」

おっさん「今週のプリキュアいい話だったなあ」

占い師「体育座りしてたら足痺れてきた…どうしよう」

サバ子「あ、ねえあの女の子知ってる？同じ学校でしょ？」

タンラン「ああ、あれ隣のクラスの吉田さん

サバ子「え、知り合い？」

タンラン「ああ、しゃべったことねえけど吉田さん、まあ隣のクラスだしな

サバ子「ふーん、全然喋らないね、あの子

吉田「吉岡です。

サバ子「え？」

吉田「私、名前、吉岡です。

タンラン「え、

吉田「吉田は隣の隣のクラスです。

タンラン「ええ？」

吉田「達川さん、サバ子組でしょ？吉田はおっさん組です。

タンラン「あ、うん、そーなんだ…

サバ子「何で間違えてんの

タンラン「いやだつてさあ

サバ子「だってもしつてもないわよ！あつちはあんたの名前覚えてんのに！！

タンラン「それこそ知らないよ！何で覚えてるの？

サバ子「あたしに聞かないでよ！自分で聞けばいいじゃん！

タンラン「聞けないよ！名前間違えちゃったのに

サバ子「何おじけずいてんの！！ヤンキーのくせに

吉田「大丈夫ですよ。慣れてるんで

タンラン「ご、ごめん

吉田「いいんです。慣れてるんで：

タンラン「変わってるなあ、あの子

占い師「あんたに言われたくないと思うけど

吉田「軒下で猫可愛がってましたよね

サバ子「：そんな昭和のヤンキーみたいなことする人ほんとにいるんだ：

タンラン「あの猫、チュールが好きなんだよな

サバ子「あ、流した

吉田「猫缶もお気に入りみたいですよ

サバ子「同類：

吉田「ちなみに達川さんそんなナリしてますけど生徒会長ですからね

サバ子「え、短らんさん生徒会長なの！？

占い師「てか達川って名前なのね

吉田「公約で男子は短らん、女子はあしくび下ロングって掲げたら面白がって採用されましたね

タンラン「ふふん！

吉田「まあそこは却下されたみたいですけど

タンラン「そうなんだよ！！公約にしたのに！！

占い師「ていうか吉岡さん詳しいですね

吉田「私負けたんです、この人に

サバ子「うわぁ…

吉田「まあ、あるあるですよ、真面目なやつより陽キャの方が評価されるんですよこんな世の中なんて
タンラン「なんかごめんな

サバ子「謝っちゃダメだよ！！そんなの余計吉田さんを惨めにするだけだから絶対

占い師「そんなはつきり言っちゃってもダメでしょう

吉田「私は！あなたが！！嫌い！！

サバ子「唐突な悪口

吉田「でもそんなあなたを尊敬してしまう！！

占い師「突然の褒め言葉

車掌入ってくる

車掌「すみません、男性の方少し手伝っていただいていいですか？？」

タンラン「あ、もちろんですあ、おい…

おじさん動かない

サバ子「おじさん…

おっさん「わかったよ、行くよ

間

サバ子「えっと、隣のクラスの吉田さん？

吉田「…吉岡です…まあ、はい、いいですよそれで

サバ子「吉田さんはさあ、なんで短ランさんのこと尊敬してんの？

吉田「カリスマ性…ですかね、私にはないんで、あと絶対人のこと貶したり陥れたりしないところ…です…かね

サバ子「友達なの？

吉田「友達なら存在忘れられてないですって

占い師「じゃあライバル感じ？

吉田「一方通行ですけどね

サバ子「あー、そっか

吉田「私これでも副会長なんですよ？

占い師「…それでよく存在忘れてれたな

吉田「逆にすごいですよね

サバ子「なんかそんな風に聞くとほんとにすごいのであります笑

吉田「確かに笑尊敬に値しないかも…取りけそっかな

サバ子「つよすぎ、吉岡さん

男性陣帰ってくる

タンラン「また雪降ってきた！！

おっさん「さぶいさぶいさぶいさぶい

タンラン「占い師さんよかったな貴重な1割まだ残ってるぞ

占い師「余計なお世話よ

タンラン「あー疲れた！

座った瞬間寝出すタンラン

「…

サバ子「短らんさん寝ちゃいましたね、

吉田「しゃべり疲れたんじゃないですか？

占い師「いますよねえこう言うことも、

吉田「いますよねえこう言う子供

まえを見て言う

タンラン「全睡眠の呼吸！！！！

サバ子「そこは令和なんだ

占い師「どう言うゆめを見てるんですかね

サバ子「いますよねえ寝言が大きい子供、

吉田「いますねえそういうことも

間

吉田「平和ですねぇ

おっさん「電車に閉じ込められてますけどね

占い師「ほら、小鳥の囀りが…

サバ子のいびきが聞こえて来る

おっさん「ずいぶん汚い囀りだな

占い師「たまにはいいんじゃないですか？

間

寝言で会話(サバ子タンラン)

占い師「最近の若者はすごいですね

おっさん「癩だけどな

間

おっさん「きみあれか…その

占い師「ああいや、本気で死のうと思ってるわけじゃないんですよ、なんかどうでもいいなって思っちゃってノリ？みたいな不謹慎な話ですけどね。

おっさん「…そのとおりだな

占い師「あれ流れるに慰めてくれるのかと思いました。

おっさん「いや、慰める話でもないなぁと思ってな、割と元気だろお前

占い師「そうですねえ、短らんくんとサバ子ちゃん誘ってトリオでも組もっかな

おっさん「…あいつら本気になるぞ

タンラン「あーよく寝たぜ、うん？どうした？

占い師「ううん！！なんでもない！！

おっさん「さっきこいつがなあ…

占い師「なにもなにもなにもない！！

タンラン「そうかあ？う！！トイレトイレ！

ヤンキー外に出る

吉田「起きると一気に賑やかになりますね

占い師「賑やかと言うかうるさいと言うか

ヤンキー帰ってくる

吉田「起きないですね、サバ子ちゃん

占い師「すごい幸せそうな顔してる笑なんの夢見てるんだろうね

タンラン「おれが令和一のヤンキーになってる夢だな！

吉田「前のシーンでアドリブした話」の話してたやつがよく言うわ

占い師「こう見ると年相応に見えるのにね

おっさん「ああ、見ようによつては短らんの方が年下に見えるもんな

タンラン「おい、それはねえって！！

占い師「しー！！起きちゃうでしょ！！

おっさん「すまん

タンラン「ごめん

車掌「皆さん。ご報告が遅くなってすみません。復旧の目処が立ちました。

タンラン「え！！かえられるんですか？！

車掌「今日の深夜に、除雪機が来てくれるそなので、とりあえずいまから近くの駅に向かって明日の朝には駅の方に帰れます！！

占い師「うわー！！やった！！ー帰れる

タンラン「本当にありがとうございます！！おい！サバ子起きろって！帰れるんだよ！

サバ子「…え？

タンラン「もうすぐ電車ですって！明日の朝には帰れるぞ！！しゃー！！

サバ子「嘘…

占い師に対して

おっさん「あんたよかったな当たったじゃないか

占い師「そうですよね、私まだまだやれますよね！！もう少し頑張って見ます。

タンラン「転職して親孝行したら？

占い師「ヤンキーの高校生に言われるときついものがありますね
笑

タンラン「ヤンキーのくせに真面目だし？」

吉田「ほんとにね

タンラン「でも仲良くなれたから明日からの電車が少し楽しみになりますね

占い師「なに可愛いこと言うじゃん

車掌「出発します、揺れる可能性がありますのでご着席ください。

タンラン「あれですね、毎日同じ電車乗ってんのに知らないもんですねほんとに

おっさん「まあそんなもんじゃないですか

タンラン「時代の流れだよねえ

占い師「あんたいくつやなのよ

おっさん「昔はよかった

急に立ち上がる

占い師「あぶないよ

サバ子「電車、止めてください

タンラン「は？」

サバ子「止めてください、私おります

吉田「なに言ってるんの帰れるんだよ？」

緊急停止ボタンを押す急停車

占い師「なにしてるの！！

車掌出てくる

車掌「何事ですか！！

サバ子「戻りたくない！！

サバ子「せっかく、せっかく踏ん切りがついたのにもうあんなところ戻りたくない！！

吉田「サバ子ちゃん…

占い師「あんた、もしかしてほんとに…」

サバ子「…なんちゃって、ごめんなさい。押してみたかったです、非常ボタン。ごめんなさい、電車だしてもらっていいですか。

タンラン「なんでもないふりするなよ!!」

サバ子「なにがですか

タンラン「俺らダチだろ!!もつと頼れよ、俺を!!」

サバ子「頼るってなにを?

タンラン「なにして言われたら困るけど、なんかあるんだろ話せよ!!」

サバ子「話したとして何が変わるんですか?

タンラン「は?

サバ子「私は中学生、あんたは高校生、なにが変えられるって言うんです、私たちに。なにもしないの、だから大人の言う事聞くしかないんだって、早く大人になりたい子供なんかやめたい自由になりたい…」

占い師「大人になる⇨自由になれるってわけじゃないよ

サバ子「…」

占い師「そもそも自由になれるんだったら死のうとなんかしてないって、大人って言うけど称号が変わるだけで子供と何にも変わらないの。諦めることを覚えるしかないよ

サバ子「…」

タンラン「わかってないなあ!!親御さんはサバ子のことしっかり愛してるって!

占い師「ちょやめな

タンラン「逆に愛人さんとも仲良くやれるかもよ、サバ子が意固地になってんだよ

サバ子「…」

タンラン「もっと周りを見ろよサバ子が気付いてないんだ

サバ子「うるさい!あんたに何がわかる!!」

タンラン「おう!!」

サバ子「愛されてるっていうの、何がわかるんですか、あそこで暮らしたこともないくせに!!」

タンラン「暮らしたことはない!!」

サバ子「1週間千円で足りるわけねえだろ！！こちとら成長期なんだよ！！」

タンラン「そうだな」

サバ子「なんであったかいご飯じゃなくて、日持ちするもんばかり買わなきゃいけないんだよ！！」

タンラン「うん」

サバ子「外面ばかりいいくせに！！」

タンラン「おお！それは大変だ！」

サバ子「そんな格好してるから変なやつだと思ったらちゃっかりママ呼びかよ！！羨ましいんだよ！」

タンラン「そうだな！羨ましいだろう！」

占い師「え、ちょっ…」

サバ子「それで生徒会長？同級生に尊敬されて？カリスマ性があるだ？クソが！！」

タンラン「おうよ、俺は天才だからな！！」

サバ子「占い師さんだって親に愛されてんのめっちゃ憎い！！」

占い師「え、

タンラン「そうだな！甘えるなってな！」

サバ子「それでそれで…」

タンラン「それで？」

サバ子「理解者みたいな顔するな！！ハゲのくせに！！」

タンラン「おう…禿げてはないよ！！」

サバ子「…」

タンラン「…確かに相談しても何も変わらないかもしれないけど吐き出せよ」

サバ子「もういややあ父親はクズやし愛人は香水臭いし、

占い師「そこなんや

サバ子「なんでお母さん私のこと連れてってくれなかったの！！」

タンラン「うん

サバ子「わたしがなにしたって言うの…」

タンラン「そんなに嫌なら占い師さんに呪ってもらおう！

占い師「…呪つといたるか？

サバ子「…

タンラン「お、迷ってる

サバ子「ダメーほんまに死んで私が申し訳なくなるのも嫌ー！！

おっさん「確かに

占い師「毎日ダンスに小指ぶつける程度なら？

タンラン「微調整可能なんや

サバ子「…毎時間にしといて

おっさん「ほんとうに嫌なんだね

タンラン「毎秒じゃないだけマシじゃん？

吉田「…毎秒は不可能です

占い師「にしてもあたってたなあ、私の占い。

ヘッドホン「余計なこと言わない

占い師「しゃべった…

ヘッドホン「…（ヤマザワさんの悩みはヤマザワさんにしかわからないけど、）もっと周りを頼っていいと思う。兎相だって教師だってニュースじゃ助けられなかった人たちのことしか騒がれてないけど、その何倍もの人が助け出されてるんだから

サバ子「…

占い師「ヤマザワって誰」

おっさん「どう考えても流れる的にサバ子でしょ

サバ子「ヤマザワです

吉田「誰よりもしゃべってないのに誰よりもいいこと言うなあ…

ヘッドホン「というか家出してどうするつもりだったの？一人暮らし？15歳が？できないよ。そう言う時はちゃんと大人を頼りなよ。

占い師「ちゃんとした大人じゃないかもしれないけど私たちはサバ子ちゃんの味方だよ、ねおっさん

おっさん「あんたにおっさんって言われる筋合いはないけど、そうだぞ、なんだったら着いてってやるし…

鉄オタ「よし！じゃあみんなでサバ子さんの両親を豚箱にぶち込みましょう！！！！」

「…」

車掌「鉄尾さん、ハンドル触りたいって言ってたよね、車掌室行こっか。

鉄オタ「え！！いいんですかつやった！！！！」

車掌ズ去る

「…」

タンラン「豚箱目指して頑張るぞー？

「…」

タンラン「…わりい

おっさん「…逃げてもいいんだ

サバ子「え？

おっさん「本当に苦しんだったら、このまま駅に帰らずに逃げたっていいんだ。

サバ子「…」

おっさん「大人だって逃げるしな、でもなこんな少年漫画から出てきたのかって言う友達思いなやつだっているしな？そういう選択肢があるんだって言うことも覚えておいたらいいんじゃないか？

サバ子「…」

おっさん「サバ子ちゃん、今は周り全部が敵に見えてひとりぼっちだと感じるかもしれないけど…

サバ子「一人じゃないよ♡ですか？

おっさん「ううん、そうじゃない。一人がいいんだったら、一人でいたらいいんだと思う。人間突き進んだらみんな一人になれると思うしね。でもね大人だってそう思う時もある。

サバ子「…」

おっさん「大人はな、フリが上手いんだ、自由なふり、なんともないふり、傷ついてないふり、元気なふり、充実して私がこの世の中で一番幸せだっけふり、全然そんなことないんだけどな

サバ子「ダサいんですね

おっさん「うん、ださいね

サバ子「…

間

車掌「出しますね

暗転

じんわり朝日がつく

放送「まもなく正座駅、正座駅。みなさま本日はご迷惑をおかけして大変申し訳ございませんでした。
電車がつく

車掌「皆さん！！つきましたよ！！

おっさん「ああ疲れたああやっぱり

占い師「途中で仮眠しても電車の中で寝るのには限界ありますね

吉田「ちよつとは楽しかったですけどね

占い師「んー、まあちよつと？

吉田「はい、ちよつと。

占い師「明日、あー今日か土曜でよかったあ

吉田「ほんとですねえ

おっさん「あんたニートなんだから関係ないだろ

占い師「やめてくださいよ…先いつてるね

間

立ち上がろうとしない中学生、ヤンキー横に座る

タンラン「帰んぞ

サバ子「…

タンラン「ほら手繋いでやるから

サバ子「子供扱いしないで

タンラン「じゃあ、おれが繋ぎたいから？

サバ子「…カッコつけんなマザコンヤンキ―

手繋いで去る

か ↑ 保留

サバ子がタンランに肩パンしながら先に去る

おしまい